

上島町立学校統合準備委員会 第1回通学部会 協議記録

- 1 開催日時 令和8年6月25日（木）19:00～20:30
- 2 開催場所 生名地域交流センター大ホール（立石港務所2階）
- 3 参加者 高見 恵美、志賀 良、鍋島 理恵、友近 将道、宮本 直樹、
大岡 賢弘、松本 美香、森賀 未有、金城 雄太、西坂 匡弘、
田中 勝也、田坂 敏、山本 勝幸、井出 和宏
- 4 協議内容記録
 - (1) 部会長の選出について
 - 岩城小学校長 高見 恵美 を選出
 - (2) 現況の確認について
 - スクールバスの運行
 - 【弓削小】1台のスクールバスで、朝2便、夕方4便（低学年2便、高学年2便）
 - 【生名小】スクールバスの運行なし
 - 【岩城小】1台のスクールバスで、朝1便、夕方2便（低学年1便、高学年1便）
 - 【弓削中】1台のスクールバスで、生名地区と佐島地区から朝1便、夕方2便（授業後1便、部活動後1便）、久司浦・大谷・狩尾地区の希望者は小学校のスクールバスに乗車可能
 - 【岩城中】スクールバスの運行なし
 - 通学路
 - ・ バス停が決まったら細かい通学路を決定していく作業となる。
 - (3) 児童生徒数の推移について
 - 令和10年（小学生）
 - 【弓削方面】佐島方面から12名、狩尾・大谷・久司浦方面から7名が乗車
 - 【生名方面】18名が乗車
 - 【岩城方面】43名が乗車
 - 岩城方面から85名、狩尾方面から7名が乗車
 - 令和11年度以降（中学生）
 - 【生名方面】9名が乗車
 - 【岩城方面】40名が乗車
 - 小学生と合わせると、岩城方面から117名、狩尾方面から6名が乗車

(4) 指定通学路について

- 通学部会は、様々な案を出す場である。決定は、統合準備委員会で行う。
- 通学部会で現行ルートの見直しも行う。
 - ・ 佐島港の反対側を回っていただけると保護者は助かる。
 - ・ 生名小学校は、弓削中学校と同じルートだとバス停まで 30 分歩かないといけない児童がいるので、奥（恵生・西浦）まで入ってほしい。
 - ・ 岩城小学校の保護者は、令和 10 年度で 5 案（①バス 1 便、②バス 2 便、③船とバス 1 便、④長江港から立石港を経由する船とバス、⑤バス 3 便）、令和 11 年度で 3 案作成している。
- 通学時間 30 分以内は物理的に難しい。文部科学省は概ね 1 時間以内を推奨している。上島町としては、1 時間以内を目途と考えている。
- 船よりは、スクールバスの方が良いと思う。
 - ・ 船は、天候に左右される。欠航した場合に登校できなくなる。
 - ・ バスの児童は登校して授業、船の児童はオンライン授業となると不公平である。
 - ・ 教育課程を組む場合、スクールバスだと融通が利く。船だと船の時刻に合わせて教育課程を組む必要がある。
 - ・ 地域学習での探究学習にもスクールバスの方が良い。
 - ・ 船（芸予汽船）は乗り遅れると、途中登下校が難しい。船（岩城汽船）をスクール便で使うと予備がなくなり、代船が利かなくなるのではないかな。
- 遅れた場合に、バスの定期便を増便して乗れるようにしたり、ちょいソコを利用できるようにしたりできると良い。
- 岩城のバスにも生名や佐島の児童も乗せるなど、総合的に考える。
- バスを購入するのであれば、無駄にならないようにしなければならない。購入する場合、議会を通す必要がある。
- 中学校の開始時刻を遅らせて、小学校の送迎後に中学校の送迎をするとバスを減らすことができるが、保護者の負担もあるので難しい。
- スクールバスの停車する場所は、基本は現在使っている停留所（安全な場所）がベースである。西部地区など新たに作る場合は、安全な場所を停留所にする。
- 公営事業課や消防防災課などは、必要になれば招集できる。
- スクールバスのガイドラインは見直す。
- 通学に関しての条例はない。
- Zoom による傍聴は、検討。
- スクールバスはどこを回ってほしいか、岩城小、生名小、弓削小で保護者に聞いてみる。
- 通学部会に、岩城保育所の保護者代表を入れてほしい。
 - 委員長に許可をもらって入ってもらう。生名保育所と弓削保育所の保護者代表にも、生名小学校と弓削小学校から参加するかどうかを聞く。
- 岩城小学校の保護者の希望を集約して、ベースを作って第 2 回の部会を開く。7 月 13 日（月）19:00～、生名地域交流センター大ホール（立石港務所 2 階）を予定。